

栃木県眼科医会理事会だより(平成30年度第5回)

日時：平成31年1月16日（水） 午後7時20分

場所：宇都宮市医師会館

出席：【会長】吉澤徹 【副会長】石崎道治、釣巻穰 【理事】青瀬雅資、井岡大治、井上裕治、上田昌弘、大久保彰、大塚信行、大柳静香、金子禮子、久保田芳美、斎藤信一郎、関本慎一郎、高橋雄二、堤雅弘、細川美奈子、渡辺芽里 【監事】原裕、旭英幸 計20名

欠席：【理事】稲葉全郎、永田万由美 【顧問】柏瀬宗弘、川島秀俊、妹尾正、新井田孝裕、宮下浩

計 7名

《会長の言葉》

皆さんこんばんは、2019年、新年を迎えました。今年も皆さん一人ひとりの健康とご活躍を祈っています。元号が変わることにともない、今後いろいろな問題、混乱も起こってくるものと思いますが、みんなで協力してがんばっていきましょう。皆さん全員からの積極的な発言を期待しています。

《総 務》

【斎藤】

報告 1. 会員の変更

転出 B 斎藤文信 (獨協医大眼科) 埼玉県へ
B 田中育美 (おちあい眼科) 茨城県へ
自宅住所変更 2名

報告 2. 日本緑内障学会より、県眼科医会宛てに世界緑内障週間のポスター送付の件

計10枚のポスターが送付された。理事各位に配布しそれぞれの施設で展示する事にした。

協議 1. 託児所設置について

【金子 細川】

1) 男女共同参画より発送したアンケート調査の結果について

3 2名回答あり

Q1:託児利用 毎回利用4人 時々利用2人 殆ど利用しない4人 利用予定なし22人

Q2:託児所に関する要望や意見 11人記入あり

実際、利用し助かっているという意見、利用者が少なくても、継続を望む意見、子育て中の先生が参加でき勉強しやすい環境作りが必要。という意見などであった。下記の通り。

1. どんなに利用する人が少なくても、もっと継続して頂きたい。集談会に有ると本当は行きやすい。
2. 毎回とても助かっています。
3. 必須なものだと思います。
4. 全ての講演会で設営出来るよう、今後更に広がっていくよう宜しくお願いします。

5. 現在3歳と1歳の娘を育てています。今は娘たちが小さいので夜の勉強会に参加することは難しいですが、今後は託児付きの勉強会がありましたら是非参加したいと思います。宜しくお願いします。
6. 獨協の女医さんはお子さんが多いので設営していただけたらありがたいです。
7. 子育て中の先生方も積極的に参加出来る様、この様な環境作りは必要と思います。
8. 利用頻度は高くないとは思いますが、是非継続してください。
9. 将来利用する場合には助かります。できるだけ存続の方針を継続してください。
10. 会場に託児可能な場所があれば年に1回を2～3回と増やせるようにしたら良いと思う。
11. 小さな子供を持つ若い女性の先生には必要と思う。利用者は少ないかもしれないが運用の工夫で若い先生（子育て世代）が勉強しやすい環境整備が必要だと思います。

2) 前回の理事会で託児を仮に毎回設置したとしても予算は可能なのではということであったが、会場により設置可能なスペースの確保と保育士を派遣していたチャイルドランドが倒産したため新たな会社を探す必要がある。

また、一回当たりの概算費用とアンケート調査（細川先生集計）の結果を協議する必要がある。

現時点での託児必要経費（詳細は添付ファイル）

宇都宮グランドホテル 八汐の間 18:30～21:30 3時間 32,400円

株)クルールプロジェ ベビーシッター2名3時間 21,800円～

(預かる子の年齢人数により増減あり)

子供賠償責任保険1人分500円 交通費 シッター1人分1,000円

ベビーシッターの配置基準

6ヶ月未満→スタッフ1名につき1名まで

6ヶ月～2歳児→スタッフ1名につき2名まで

3, 4歳児→スタッフ1名につき3名まで

5, 6歳児→スタッフ1名につき4名まで

小学校低学年→スタッフ1名につき5名まで

会場 現時点では宇都宮グランドホテルのみ。

(宇都宮市医師会館は和式トイレのみなので、幼児を預かることができない)

現時点で下野談話会の託児利用の申し込みはありません。

平成31年度は試験的に宇都宮グランドホテルを利用する会すべてに託児を設置してみる。

次年度は1年間の結果を検討し判断する。

必要経費は、メーカー協賛のあるものはメーカーにお願いしてみる。

金子禮子理事出席予定。

討論テーマは 第4回理事会で協議した内容。

就労・育児支援、大学医師会行政との連携、女性役員の目標達成など。

協議3. 平成30年度第2回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会の出席者と提出議題

【吉澤】

(3月3日(日)横浜市ホテルキャメロットジャパン)

吉澤(徹)会長、石崎代議員、原(裕)関ブロ監事 出席予定

協議4. 来年度役員の件

広報担当責任者について

平成31年度から高橋雄二先生が広報副担当となり、大柳理事の仕事の補佐をする。その一年後には大柳理事の理事退任が予定されているため、高橋理事を後継として指名する予定である。

協議5. 平成31年度総会の件(4月14日(日))

1) 式次第の件を再検討、決定する。

① 一般講演の演題数について1時間で6演題にしてはどうか。

② 一般講演→特別公演→総会→懇親会にしてはどうか。

現在の栃木県眼科集談会は眼科専門医の点数が3点(3時間以上)である。時間短縮により点数が2点に減る状況は避けたいので、一般講演は従来通り9時30分から11時30分の開催として、演題の数や、1演題の時間の調整を検討する。特別公演は11時30分から12時30分とし、合計3時間を確保する。

一般講演の直後に特別講演を開催することにより、ご招待した先生の『特別講演』に参加する人数が多くなることは良いことなので検討したい。

「本会入会者の挨拶」は総会の最後にしてはどうか。

(以上、「第1回理事会だより」より抜粋)

① 一般講演の演題数について

一般演題については、現在のところ、獨協医大、自治医大より各2～3題。国際医療福祉大学より2題。眼科医会より1題、程度を予定しているが、変更の可能性あり。

② 会の進行について一般講演→特別講演→総会→新入会員挨拶→懇親会の順にすることを決定。ただし、当日の状況によって2020年以降に見直すことも考慮。

2) 資料の確認

事前に送るもの

- ・案内
- ・次第
- ・アイバンク手紙
- ・出欠はがき(委任状付き)

- ・駐車場案内図
- ・第77回栃木県眼科集談会プログラム
- ・つぶやきの手紙 ・つぶやき返信ハガキ

当日配布

- ・会務報告 (事務局)
- ・会計報告 (堤理事)
- ・会報会計報告 (大柳理事)
- ・事業計画(案) (事務局)
- ・予算案(案) (堤理事)
- ・年会費(案) (堤理事)

※理事が校正する

※事務局で印刷し準備する

協議 6. 平成31年度関ブロ連絡協議会の出席者と議題について (5月25日(土)高崎市)

吉澤(徹)会長、石崎代議員、原(裕)関ブロ顧問 出席予定

議題：インターネット関連事業の取り組みについて (公式アカウント設立への検討など)

協議 7. 平成31年度関ブロ男女共同参画委員会の出席者と議題について (5月25日(土)高崎市) 【金子】

金子禮子理事出席予定

協議 8. 2019-2020年度 栃木県結核・感染症サーベイランス委員推薦の件

平成29-30年度は、大柳先生が担当した。

次期は、稲葉全郎理事を推薦することに決定。ご快諾いただいた。

正式な依頼状が届いたら、文書で依頼する。

協議 9. 入会者について (転入、開業を含む)

B→A 福澤裕一 (広島県より)

小山福澤眼科 新規開設

〒323-0829 小山市東城南4-13 電話：0285-31-0700 FAX：0285-31-0701

理事全員で承認。当日挨拶のため来場されたため。理事会終了後レクチャーを行った。

《経 理》

【堤】

報告 1. 平成 30 年度眼科医会忘年会収支報告

支出 330,890 円

収入 215,000 円(参加人数 29 名)

差額 115,890 円を眼科医会一般会計より補填した。

協議 1. 関ブロ懇親会費積立金について

前々回の栃木県主催関ブロ終了時に関ブロ準備金が2,447,729円存在していたが、前回（平成28年）終了時には1,576,363円（現在一般会計に統合されている）であり、差額871,366円の赤字であった。

また、企業寄付金が1,510,000円あったが、今後同額集金できる見込みは低い。

7年後の関ブロ開催に向け、赤字分と寄付金を合わせた最大200万円程度の積立金を開始することになった。（金額はまだ未定。）

開始に当たり自動積立金口座設立等につき銀行に問い合わせる予定。次年度から開始方向。

《学 術》

【大久保】

報告 1. 第59回栃木県眼科医会研究会開催報告（平成31年1月11日（金）宇都宮グランドホテル 参天製薬と共催）

特別講演1「脈絡膜新生血管の長期マネジメント ～抗VEGF療法における病診連携を考える～」

大島裕司先生（福岡大学筑紫病院 准教授 兼 九州大学病院 特任准教授）

特別講演2「学童期の近視進行抑制・アップデート」

長谷部聡先生（川崎医科大学 眼科学2 教授）

参加者 52 名

協議 1. 第26回栃木眼科セミナーについて（平成31年2月15日（金）宇都宮グランドホテル）

ミニレクチャー：「BRVOに対する抗VEGF薬の投与方法」

新井悠介先生（自治医科大学 眼科学講座 助教）

特別講演：「眼炎症疾患 ～発症機序から考える治療～」

福島敦樹先生（高知大学医学部 眼科学教室 教授）

協議 2. 第28回下野眼科談話会について

日時：平成31年3月15日（金） 19時～ 場所：宇都宮グランドホテル

演題 1：「人口知能技術の進歩と眼科を始めとした医療分野への連携」

遠野宏季氏（株式会社Rist 代表取締役社長）

演題 2：「眼科における人口知能の最新動向」

高橋秀徳先生（自治医科大学眼科学講座准教授）

協議 3. 第77回栃木県眼科集談会について（平成31年4月14日（日） 自治医科大学）

特別講演 柳 靖雄先生（旭川医大 教授）

協議 4. 眼創傷治癒研究会 日本生体材料研究会について

獨協医科大学眼科准教授主催で開催予定

《医療安全対策及び福祉》

【関本】

報告 1. 栃眼医忘年会開催報告(12月19日(水) ホテルニューイタヤ)

会員 25 名 出席 盛会のうちに終了

協議 1. 平成 31 年度眼科コ・メディカル講習会(帝京大学医学部)

日程 : 2019 年 1 月 20 日(日)、2 月 17 日(日)、3 月 10 日(日)

仮日程 : 2019 年 4 月 7 日(日)、5 月 12 日(日)

《保 険》

【井岡】

報告 1. 第2回審査員連絡会の開催報告(11月27日(火) 宇都宮医師会館)

社保より千葉先生、大野先生、大久保先生、国保から苗加先生、栃眼医から井岡の 5 名で開催。
全国健保担当理事連絡会や健保研究会について報告し、審査上での疑義について協議した。
一部不明部分については井岡が検索し審査員に報告した。

レクトミー術後のニードリングの算定方法は〈K223-1 結膜嚢形成手術 部分形成 2250 点〉
が算定できる。

報告 2. 「平成30年度全国健保担当理事連絡会提出議題」に対する日眼医見解の送付について

記録(質問事項)は、日眼医HPのメンバーズルーム「社会保険 Q&A 検索」にジャンル別に追記
する。また、「日本の眼科」第89巻第12号(12月20日発行)に掲載される予定

協議 1. 平成31年度関ブロ健康保険委員会の出席者と議題について(5月25日(土)高崎市)

今回の群馬県開催の関ブロ健康保険会議には社保担当の大久保先生に出席していただく予定。
提出議題は検討中なので、何か質問疑義があったら知らせてほしい。

協議 2. 平成 31 年度全国審査員連絡協議会の出席者と提出議題について(6月2日(日)AP 品川アネックス)

6 月の全国審査員連絡会には国保担当の川島先生に出席していただく予定。
提出議題は検討中なので、何か質問疑義があったら知らせてほしい。

協議 3. 社保審査委員の交代について

千葉先生がご辞退された場合の後任について、千葉先生からの要望について
(千葉桂三先生が本年 5 月からの審査委員をご辞退希望のため)

「千葉先生のこれまでの貢献に深く感謝している。しかし千葉先生の審査員続投にせよ、退任
にせよ獨協医科大学からの協力は続けてお願いしたい」との内容の連絡をすること。

同時に理事の青瀬先生からもこの件を獨協医大眼科医局に伝えていただくよう依頼した。

同じく社保審査員の大野先生も以前より5月退任の意向であるため、次期候補を栃眼医執行部に連絡する予定。

《広 報》

【大柳】

報告 1. 関ブロ会報の件

本会の原稿は提出済

協議 1. 栃木県眼科医会報第 52 号の原稿について

巻頭言 石崎先生

表紙 稲葉先生

随筆 大塚先生 にお願ひした。

協議 2. 日眼医より「日眼医通信設定のお願い」について

「メーリングリストもしくは一斉配信・転送で広く会員に配信」で回答する。

回答締切りは1月27日(日)

《学校保健》

【久保田】

協議 1. 栃木県医師会第2回学校保健部会理事会について

平成31年2月28日 午後4時から

久保田理事出席予定

《公衆衛生》

【大塚】

報告 1. 一次救急当番の件

4月30日、5月1日、2日辺りはNH0 栃木医療センターの診療日によっては変更の可能性あり。

協議 1. 平成31年度目の愛護デー記念行事について

会場 宇都宮市健康センター

期日 10月6日(日)予定

《医療対策》

【高橋】

報告 1. 平成 30 年度医療機器・販売業等の管理者に対する継続研修会 開催報告(12月2日(日))

講演 1 (14:00～15:00) 「医薬品医療機器等法に基づく医療機器販売業等の管理について」

講師 栃木県保健福祉部 薬務課薬事審査担当 石原島 晶子 先生

講演 2 (15:00～16:00) 「ソフトコンタクトレンズの処方とケア指導」

講師 梶田眼科 院長 梶田 雅義 先生

出席人数は100名。

報告 2. 平成 30 年度医療機器・販売業等の管理者に対する継続研修会 収支報告

収支報告は別途資料の通りです。

前年度繰越し金 361,458 円

収入 300,003 円 (参加人数 100 名)

支出 338,648 円

残金 322,813 円

協議 1. 平成 31 年度 医療機器・販売業等の管理者に対する継続研修会について

講師 日本大学医学部附属板橋病院 兼任講師 稲田 紀子先生

期日 12 月 1 日(日)

に決定。本眼科医会事務局に平成 30 年のコンタクトレンズ管理者講習会の報告書、決算と、本年度(平成 31 年度)の計画書を送付した。

《勤務医》

【上田】

協議 1. 「日本の眼科」掲載の『勤務医の頁』執筆者の件

上田理事が執筆

協議 2. 第24回栃木県眼科手術談話会(2019年5月17日(金) 宇都宮市医師会館)の件

特別講演は、原 岳先生(原眼科病院)に決定

協議 3. 平成 31 年度関ブロ勤務医委員会(2019 年 5 月 25 日(土) 高崎市)

上田理事出席(提出議題は未定)

《日眼医連盟》

【吉澤】

報告 1. 連盟交付金について

例年、各都道府県の連盟会員の年度別納入の会費及び寄付金の合計額の 5% を交付する制度がある。(希望した時のみ)

辞退する旨、連絡済

《その他》

次回理事会は3月20日(水)に開催予定

(斎藤信一郎 記)